

「第2期町田市特別支援教育推進計画（案）」に関する
意見募集の実施結果

2019年12月

町田市教育委員会学校教育部教育センター

「第2期町田市特別支援教育推進計画（案）」に関する 意見募集の実施結果

町田市教育委員会は、これまでの町田市特別支援教育推進計画における特別支援教育の成果と課題や、東京都特別支援教育推進計画（第二期）等の内容を踏まえ、町田市の特別支援教育の更なる充実を図ることを目的として、第2期町田市特別支援教育推進計画を策定しました。

計画の策定にあたっては、意見募集を実施し、市民の皆様からご意見を募集しました。実施結果の概要は以下のとおりです。貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

1 意見募集期間

2019年12月1日（日）～2019年12月16日（月）

2 意見募集方法

町田市ホームページに「第2期町田市特別支援教育推進計画（案）」等資料を掲載

3 寄せられたご意見

7名の方から24件のご意見をいただきました。なお、取りまとめの都合上、いただいたご意見は要約し、掲載しています。

第2期町田市特別支援教育推進計画（案）の意見募集結果

質問番号	意見	ご意見に対する市の考え方
1	<p>特別支援教育に関する校内委員会の機能強化における成果について「校内委員会の実施が進むにつれ学校からの依頼も減少傾向にある」とありますが、運営補助や指導助言を求めてもあまり役に立たなかったからという理由で減少しているということはないでしょうか。ベテラン教師が減少し、新任教師が増えている中、校内体制も常に変化を求められていると思います。依頼だけでなく、定期訪問を考えていただきたい。</p>	<p>校内委員会の進め方などが分かるにつれ、それぞれの学校での運営方法が確立した結果であると認識しております。</p> <p>一方、新任教師が増えている中、校内体制も常に変化を求められていることから、今後も学校へ積極的に案内をしてまいります。</p>
2	<p>特別支援学級の整備について、2020年度から3年間で3校に設置となっているが、教員をしっかりと確保してほしい。また、特別支援教育に理解がある教員を最低一人は配置してほしい。</p>	<p>教員数につきましては、東京都が児童生徒数に応じて決められた人数の教員を配置しております。また、最低1人は特別支援教育に理解のある教員を配置できるよう希望を伝えてまいります。</p>
3	<p>特別支援学級の整備について、現在の固定級のマンモス化は早急に解決していただきたい。</p>	<p>特別支援学級の児童生徒数の平準化については、特別支援学級の整備を進めていく上で重要な点であると考えています。ご意見につきましては、特別支援学級の整備を進める際に参考とさせていただきます。</p>
4	<p>毎年2月頃の市の広報に支援員募集の案内をしていますが、追加の募集を見たことがありません。支援員をしたいと思っている人は結構いると思うので、募集に関してはできるだけオープンな形をとってほしい。</p>	<p>特別支援教育支援員の追加募集については、今年度2回行い、どちらもHPで公募を行ったところです。今後も特別支援教育支援員の募集については、広く有効的に募ってまいります。</p>

5	<p>教員対象研修の充実について、ベーシック、アドバンス、マスターというコースに分けての研修は良いのですが、ベーシックについては全教員の必修にさせていただきたいです。特に、知的障がいのない発達障がいのある児童生徒の在籍級の担任の先生だけでも必修にさせていただきたいです。経験年数が多くても、基本的なことが抜け落ちていることがあるような気がしますので、経験年数だけの縦割りでコースが縛られることのないようにお願いします。</p>	<p>基本的に、特別支援教育を担当している教員には、全員研修に参加する計画となっております。ベーシック、アドバンス、マスターコースについては、目安として経験年数等を示しておりますが、研修内容等を確認し、教員自ら自分に必要であると考えられる研修に参加していただくようにしております。また、通常の学級の担任も研修を受けることができるよう案内しております。今後も、特別支援教育の充実を目指した研修に取り組んでまいります。</p>
6	<p>教員対象研修の充実について研修の対象を、特別支援学級等教員や特別支援コーディネーターだけではなく、全教員を対象とすることはできないでしょうか。障害を抱えている子どもが特別支援学級にいるとは限らず、また特定の教員が理解していればいいわけではないと思います。</p>	5と同じ
7	<p>特別支援教育教員研修会について、特別支援学級の先生やコーディネーターの先生だけでなく、通常学級の先生も受講するようにしてほしい。</p>	5と同じ
8	<p>特別支援教育推進モデル校はどのように、どこを指定校とするのでしょうか。また、特別支援教育アドバイザー訪問は年1,2回ではあまりに少ないような気がします。月1回ぐらいの定期訪問で初めて見えてくる課題等もあると思います。</p>	<p>特別支援教育推進モデル校は、学校からの申請に基づいて、教育センターで決定しております。2019年度は町田第一小学校を指定校として2年間の研究に取り組んでいただいております。</p> <p>特別支援教育アドバイザー訪問についてのご意見につきましては、特別支援教室の充実を図る際の参考とさせていただきます。</p>

9	<p>特別支援教育授業リーダー育成事業では、「授業公開や研修会での実践発表を通じ他の授業改善につなげていく」となっていますが、特別支援教育推進モデル校においても同様にモデル校の成果や情報を他の学校にも共有してほしい。</p>	<p>2020年度にモデル校の研究発表会を開催する計画であります。モデル校の取組や成果についても共有していく予定であります。貴重なご意見ありがとうございました。</p>
10	<p>町田市特別支援教育巡回相談員・特別支援教育専任相談員・特別支援教育専門家チームについて、要請派遣でなく定期訪問にしてほしい。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、特別支援教育の充実を図る際の参考とさせていただきます。</p>
11	<p>要請訪問については随時となりますが、これまでの実績はどのくらいあるのでしょうか。</p>	<p>2018年度の要請訪問の実績は、小中学校合計で77件です。2019年度は、12月末時点で70件です。</p>
12	<p>関係者会議の充実について、幼稚園から小学校、小学校から中学校、中学校から高校と、次のステップに進むタイミングでは、子どもの情報を的確に引き継いで、切れ目のない支援を確実に行ってほしい。書類を引き継いだり、会議を開催したりで終わることなく、その内容が担任や教科を指導する先生にしっかりと理解してもらえるようにしてほしい。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、特別支援教育の充実を図る際の参考とさせていただきます。</p>
13	<p>町田市子育てネットワーク連絡会について、要保護児童対策地域協議会への参加が年間1回は少ないのではないか。</p>	<p>本連絡会は、他部主催の連絡会で虐待や問題行動等についての認識の共有化であり、依頼を受け出席しているものです。今後も必要に応じて出席できるように努めてまいります。</p>
14	<p>町田市立小学校・幼稚園・保育園・子ども発達センター・都立特別支援学校・学童連絡協議会について、今は子ども発達センターを利用していない</p>	<p>いただいたご意見につきましては、特別支援教育の充実を図る際の参考とさせていただきます。</p>

	<p>児童も沢山いると思います。民間の児童発達支援や他地区の児童発達支援を使っている児童がいるのかは分かると思うので、こども発達センター以外の児童についてもフォローできるように、民間や他地区の事業者にも声を掛けて欲しいと思います。</p>	
15	<p>町田市立小学校・幼稚園・保育園・子ども発達センター・都立特別支援学校・学童連絡協議会について、民間の児童発達支援事業所や町田市以外の幼稚園も参加できればいいと思います。</p>	14と同じ
16	<p>特別支援教育ハンドブックについて、期待しています。どのようなものか見てみたい。ただ、配布するだけでなく、実際に活用されているか等、フォローしていただきたい。2023年度の改訂版の策定も計画されているようですが、あまり利用されず、3年間ほこりをかぶることのないようにお願いします。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、特別支援教育の充実を図る際の参考とさせていただきます。</p>
17	<p>切れ目のない支援体制の構築については、教育センターや学校で受けられる支援や相談窓口等を分かりやすく記載してほしい。保護者向けにリーフレットやミニ冊子を作成し、関係機関へ置いたり、町田市HPでダウンロードできるようにしてほしい。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、特別支援教育の充実を図る際の参考とさせていただきます。</p>
18	<p>就学支援シートがあるだけで、とても分かりやすいと思いますが、先生方がどこまで内容を理解し心にとどめていてくださるか、その点が気になり</p>	<p>就学支援シートの理解・活用については、校長会や研修会等で周知してまいります。貴重なご意見ありがとうございました。</p>

	ます。	
19	就学相談において、相談会の資料提供を子ども発達センターを利用している子どもだけでなく、民間や他地区の児童発達支援や相談支援を利用している子どもにも広げていただきたいです。	子ども発達センターを利用している子どもだけでなく、幼稚園及び保育園からも資料の提供をお願いしています。また、医療機関、療育機関等を利用している子どもについては直接保護者から資料を提出していただいています。
20	医療機関との連携について、学校から問題行動等の鎮静化のために「服薬して欲しい」というようなことを言われるケースが増えている気がします。学校も保護者も環境整備に努めず、安易に薬に頼っているようです。この文章をそのまま、学校の先生や保護者に周知して貰いたいです。	医療関係者との連携が図れるよう連携内容や連携方法を検討してまいります。貴重なご意見ありがとうございました。
21	障がいのある不登校児についての計画はないのでしょうか。通常級に在籍する発達障がいのある児童生徒はもちろん、固定級の中にも学校に通えていない児童生徒はいますが、彼らの行き場はありません。今現在、障がいのある児童生徒のための適応指導教室等用意されていません。彼らの学習権もきちんと保障していただきたいと思います。	適応指導教室は、不登校児童・生徒のためのものです。障がいのある・ないは関係ないと考えております。現在、くすのき学級では、個別指導を中心として指導を行っております。今後も児童・生徒に寄り添った支援ができる適応指導教室となるよう努めてまいります。貴重なご意見ありがとうございました。
22	ディスクレシアに対する支援が薄いと感じます。	いただいたご意見につきましては、特別支援教育の充実を図る際の参考とさせていただきます。
23	特別支援が必要な子の親に対する具体的な支援があまり感じられない。	教育センターでは、毎年、特別支援教育に関する理解啓発のための教育相談講座を実施しております。今後も特別支援教育の充実を目指した講座

		の実施に努めてまいります。貴重なご意見ありがとうございました。
24	意見募集は、町田市HPでも案内し、募集期間も長く（3週間から1ヶ月）してほしい。	今後、意見募集を行う際は、子育て支援サイトのみではなく、町田市HPでも掲載するよう検討いたします。また、募集期間についても策定スケジュールを考慮し、適切な期間を設定していきたいと思えます。